

発 言 者	発 言 内 容
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>ただ今から、令和4年度第1回富津市総合教育会議を始めます。</p> <p>会議の進行につきましては、地方自治法第180条の2の規定により、教育委員会が補助執行することとしていますので、私、平野が務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6号の規定により、原則公開となっておりますが、本日傍聴人はございません。</p> <p>それでは、次第に沿いまして会議を進めてさせていただきます。</p> <p>まず、始めに、市長から御挨拶を申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>改めましておはようございます。教育委員4名の皆様方におかれましては、日頃から本市の教育行政の推進に多大なるご理解とご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。</p> <p>また、本日は令和4年度の第1回の総合教育会議であります。</p> <p>市民の皆さんの生涯学習、並びに子供たちの教育に関して、実りある議論ができたらいいなと思っておりますので、ぜひ様々なご意見を頂戴できればと考えております。</p> <p>そうした中で、やはりまだまだ新型コロナウイルスではありますが、昨日から皆様にご案内の通り、感染者の発表に関しての変更など、また新たなステージに上ったのかなと感じておりますけれども、まだまだ富津市はもちろん、全国的に見ても完全収束には至っていないということでもあります。</p> <p>この2年半、そして現在も、この教育現場においても様々な制約の中ではありますが、子供たちが元気に学校生活を送らせていただいています。これはひとえに現場の先生方並びに教育委員の皆さんのご指導ご協力のおかげであると、重ねて感謝を申し上げたいと考えております。</p> <p>そうした中、本市の教育部関係では、昨年度をもちまして小中学校トイレの洋式化に関しては全て完了している状況であります。また、今後、青堀小学校の校舎改築、新共同調理場の建設や、来年4月を目標に、ご案内</p>

	<p>の通り市立図書館の開館準備を進めている状況であります。</p> <p>本日はそのような中、現在取り組んでおります重点的な教育施策の進捗を議題としておりますので、冒頭申し上げましたけれども、ぜひ忌憚のないご意見を頂戴できればと考えております。</p> <p>また、今日私の方から共同通信社のインタビューを受けることになっています。その中で、「選ばれるまち」ということを一つテーマにさせていただいておりますけれども、私自身、選ばれるまちで間違えてはいけないこととして、外から来る人たちだけに選ばれることを目指すのではなくて、やはりこの地域に住む人たちがこの地域に住みたいから住んでいるんだと、決してこの土地で産まれたのではないから住んでいるんじゃないというような意味で、地元の方にも選ばれる富津市を今後も目指して、市役所一丸となって頑張っていきたいと考えております。</p> <p>そういう意味では、教育というのはまち作りに欠かすことができませんので、繰返しになりますけれども、教育委員の皆さんには引き続きご指導ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>大変簡単ですが、冒頭の挨拶といたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次に会議録署名人の指名ですが、富津市総合教育会議運営要領第4条第3項の規定により、市長及び会議において指名した委員にお願いすることになりますので、市長は、会議録署名人の指名をお願いいたします。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>はい。会議録署名人は、岡根教育長をお願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>はい。</p>
<p>教育長</p>	<p>承知いたしました。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>早速ですが、議事に入らせていただきます。</p> <p>本日の議題は、「令和4年度重点的な教育施策の進捗状況について」となっております。事前に配付しました資料については、令和4年度に重</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>点的に取り組む事業についての取り組み概要と進捗を記載してありますので、最初に、全ての事業について各担当課から説明をいたしまして、その後、市長及び教育委員会の皆様で意見交換をしてみたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>それでは、議題について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>はい。それでは、お手元の資料に沿って説明させていただきます。</p> <p>資料の1ページを御覧ください。</p> <p>教育総務課から青堀小学校校舎改築事業の進捗状況について御報告します。点検・評価の6ページ今後の取組の方向性の記載内容は、「青堀小学校校舎等の改築に当たり、耐力度調査の結果を受け、次年度以降、既存体育館の課題等を含め施設全体の整備方針の検討を行うこととした。また、関係者の意見を踏まえた基本構想・基本計画を策定することで当該事業を円滑に推進する」としております。</p> <p>令和4年度の進捗状況及び補足をご説明します。</p> <p>1点目、保護者や自治会、地域活動団体など、青堀小学校関係者からなる「検討委員会」を設置し、どのような学校施設を望むかなどの意見を聴くため会議を開き、ディスカッションを重ねております。いただいた意見を整理し、基本構想・基本計画に反映させてまいります。</p> <p>実績として、6月20日、8月24日、9月12日の3回を開催いたしました。今後の予定では、資料作成後に会議の追加開催が決まりましたので、基本計画策定までの間、さらに4回の開催を予定しております。当初には計5回の開催を予定しておりましたが、議論を深めたいという委員からのご意見がありましたので対応し、追加開催に努めています。</p> <p>2点目、学校建築の専門的立場から助言をいただくため、千葉大学大学院柳澤要教授にアドバイザーをお引き受けいただき、委嘱いたしました。9月の会議から参加いただいております。柳澤教授の専門分野は建築デザイン、建築計画、教育施設計画などであり、広く国の内外での調査研究を基に、文部科学省など国の調査研究委員会委員のほか、千葉県内でも千葉市・松戸市・木更津市などの審議会委員を多数務めておられます。</p> <p>3点目、青堀小学校児童・保護者・教職員の意向を把握するため、アンケートを6月に実施いたしました。回収率：79.6%（児童92.5%、保護者</p>
---------------	---

60.6%、教職員 97.4%) 子どもには青堀小学校の好きな場所を、保護者には新しい学校に希望することなどを聞いております。この結果もあわせて基本構想・基本計画に反映して参る考えです。

4点目、学校施設建設の先進事例として、千葉市立美浜打瀬小学校・習志野市立谷津小学校の2校の視察を行いました。

当初は検討委員会の視察として計画しておりましたが、直前に市内においてもコロナ感染症の感染が拡大したことから、事務局職員のみで実施し、検討委員会において報告を行っております。

検討委員会委員の視察を改めて計画し、10月に八千代市立みどりが丘小学校・木更津市立中郷小学校を視察する予定としています。

このほか、保護者の皆さんの改築に向けた取り組みへの理解を深めていただくため、「青堀小学校改築ニュース」と題し、チラシを作成し、児童のご家庭に対し配布しております。9月現在、第3号まで発行いたしましたので、本日お手元にお配りしております。

年度内の基本構想・基本計画策定に向け、引き続き取り組んでまいります。以上です。

事務局

ありがとうございました。

(平野部長)

続いて、学校教育課所管の学校給食管理運営事業及び学力向上推進事業について事務局の説明をお願いします。

学校教育課長

はい、それでは、私から学校給食管理運営事業につきまして、ご説明します。

資料は2ページです。

まず調理場関係ですが、現在3箇所あります調理場を統合し、新たな共同調理場が完成するまで、既存の調理場の安定した運用のため、施設及び厨房機器等に必要な維持補修、修繕等を引き続き実施してまいります。

令和4年度は、給食管理費修繕料、予算額400万円に対しまして、8月31日現在、修繕件数は25件、執行率は51.48%となっております。

次に、学校給食費の公会計化についてですが、

令和4年9月からの学校給食費公会計化に伴う規則等を整備し、システム管理に向けて口座振替に必要な準備を以下の通り、進めてまいりました。

教育委員会規則の富津市学校給食費徴収規則を廃止し、新たに富津市学校給食費管理規則を市規則として令和4年9月1日から施行いたしました。学校給食費の口座振替依頼書を新規作成し、様式を追加するため口座振替事務取扱要綱の一部を改正いたしました。

また、市長の権限に属する事務の補助執行に関する規程の一部改正につきましては、富津市学校給食費管理規則に基づく事務に関することを追加いたしました。

契約関係ですが、給食管理システム導入契約、給食費口座振替依頼書作成処理業務委託、学校給食費納付書印刷等は、(株)ディ・エス・ケイ、口座振替データ集中サービス科目追加対応業務委託は、(株)ちば銀コンピュータサービス、富津市公金収納事務の取扱に関する確認書は、(株)ゆうちょ銀行との締結となっております。

学校・保護者・金融機関への周知ですが、4月15日に校長会へ公会計化実施について説明し、以降、記載の通り、5月20日に保護者への依頼文書を各学校へ配布いたしました。

給食費管理システム用機器の設置について、記載のとおり、プリンター賃貸借契約を実施いたしました。

また、9月からの学校給食費の徴収方法の変更及び口座振替についてホームページへの掲載をいたしました。

運用テストについても、記載のとおり順調に進みました。

学校給食費管理システム関係につきましても、記載のとおり、7月25日に管理システム研修を実施した後、8月31日に学齢簿から給食費台帳のデータを一括作成し、9月1日から給食費システムが使用可能となりました。

9月26日現在の口座振替依頼書の回収率は約88%です。

また、2学期給食費無償化事業に伴う事務につきましては、収納開始月の変更処理を(株)ゆうちょ銀行へ提出し、口座振替延期通知を保護者・金融機関宛へ通知いたしました。併せて、現在この無償化事業の対象とならない児童・生徒の保護者に対する給付金に関する事務についても準備を進めております。

以上でございます。

学力向上推進事業につきましては、教育センター所長の保坂からご説明いたします。

<p>教育センター 所長</p>	<p>はい。それではご説明いたします。</p> <p>学力向上推進事業では、特に読書活動の推進に重点を置いて取り組んでおります。具体的には、「読書が好きな児童・生徒を増やすこと」を目標にして、市教委で、6月から5のつく日を読書の日として設定し、各学校の実態に合わせて読書活動の推進を依頼しております。例えば、読み聞かせや宿題は出さずに読書をする事などです。年2回の評価を行い、今後に繋げて行く予定です。</p> <p>また、今年度の新規事業で、読書支援員を6月から各学校に週1回4時間の配置をしております。読み聞かせや本の紹介をするブックトーク並びに図書室や校内の掲示物作成などの図書環境整備に取り組んでおります。各学校が児童・生徒のために読書支援員を有効活用できるように、教育センターは連携・支援してまいります。</p> <p>読書活動の他に、放課後学習教室は、市内全小学校で、希望する主に低学年を対象に実施して、2年目となります。学習のつまずきの解消や学習意欲の向上につながるように、実態に合わせて運営方法を工夫しております。こちら年2回の評価を行い、更なる向上を目指しております。</p> <p>7ページでございます7月の中間評価では、「これからも放課後学習教室に参加したいと思いませんか」の問いに、約80%がしたいと回答しました。最終評価では、全ての項目で中間評価を上回ることを目指して取り組んでまいります。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、生涯学習課所管事業について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>はい。それでは、図書館関係事業、鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会事業についてご説明いたします。</p> <p>資料の8ページを御覧ください。</p> <p>図書館関係事業について、令和5年度の市立図書館の開館に向けてイオンモール富津内での図書館整備事業を進め、よりよい図書館サービスを提供するため、公民館図書室、移動図書館、学校などと連携を図りながら、市民とともに成長していく図書館を目指すものであります。</p> <p>次に、進捗状況及び補足説明をご覧ください。</p>

図書館整備事業から順にご説明いたします。

富津市立図書館条例を図書館法に基づき、市立図書館について必要な事項を定めるとともに、施行規則では、図書館の行う業務、開館時間、貸出手続きなど、具体的な事項を定め、公告を行いました。

また、図書館整備工事設計業務委託では、公募型プロポーザル方式により、5月27日第3回審査委員会・プレゼンテーションを経て、榎本設計事務所と契約を行いました。設計業務期間の約2か月間、ほぼ毎週、イオンモール富津にて、一つ一つ詳細な打ち合わせを行い、設計内容を確定させてきました。10月から工事に入りますが、監理業務を榎本設計事務所と契約締結する予定であります。

図書購入については、現在図書を購入している事業者であります、図書館流通センターと契約いたしました。2,000万円以上の財産の取得は、議会の議決事項となるため、9月議会に上程し、ご承認をいただきました。購入予定冊数は、54,050冊であります。図書の購入にと、複数のご寄附を既に頂いているところですので、図書購入に充てるとともに、一部の図書を各公民館図書室から移動することにより、飽和状態となっている各公民館図書室の整理も合わせて行います。

図書館整備工事は、制限付き一般競争入札により、伊東建設興業が落札者に決定しました。12月の工事完了に向け、関係者と協議しながら、進めてまいります。

図書館備品購入は、主にテーブル、机、イスになりますので、こちらも工事と合わせて進めてまいります。

指定管理者については、公募型プロポーザル方式により、現在進行形で進めております。今後、候補者によるプレゼンテーションが行われ、候補者が決定しましたら、12月議会に上程いたします。

また、図書館システム構築を10月から業務委託し、既存の図書システムとのマッチングを始め、開館までにICタグを活用した自動貸出返却システム、不正持出防止システムなどの設置、運用テストを実施いたします。

開館準備業務は、工事終了後の来年1月～3月に指定管理者と契約する予定です。

図書館協議会は、令和5年4月1日付け委嘱に向け、3月教育委員会定例会に上程できるよう準備を進めます。

次に、図書館関係事業、移動図書館及び公民館3館の図書室の管理運営についてですが、図書システムによる蔵書管理、毎月の発注による新刊図書の購入、移動図書館の巡回を行うとともに、学校図書室と連携し、今年度から配置された3名の読書支援員を介して、団体貸出等、学校からのリクエストに対応できるよう連携を深めてまいります。

続いて10ページをご覧ください。

鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会事業について、ご説明いたします。

引き続き鋸南町と共同し、日本遺産「候補地域」活用推進協議会で地域活性化のための各種事業を実施し、将来の日本遺産認定を目指します。

また、現在、日本寺エリア(鋸南町エリア)が県指定の名勝となっています。今後は、石切場跡までの範囲拡大、更に鋸山全体の国名勝への格上げとともに、産業遺跡としての史跡指定に向けて取り組んでまいります。

次に、進捗状況及び補足説明をご覧ください。

令和4年度事業費は、2,885万円であり、人口等を勘案し、年度当初の負担を富津市22,547千円、鋸南町6,303千円としています。

令和4年度国庫補助金交付申請書を文化庁に提出し、文化芸術振興費補助金として、1,300万円、文化資源活用事業費補助金として、709万1千円を申請し、全額、交付決定を受けております。

また、鋸山日本遺産「候補地域」活用推進協議会を6月30日に開催し、令和3年度の事業報告及び、令和4年度の実施事業について、共通理解を図り、ご承認をいただきました。次回会議は、2月を予定しています。

補助金の交付決定を受け、7月から今年度の各種事業に順次着手しており、令和4年度は、人材育成事業や調査研究事業など、全12事業を実施します。うち、7事業を令和3年度からの継続事業とし、5事業を新規事業として実施します。

新規事業、石工武田石翁調査事業は、構成文化財のひとつである、石工武田石翁の十二神将像をはじめとした作品を調査し、江戸時代に活躍した石工と鋸山の関係性や石の芸術性について、ガイドの解説やツアーの立案に役立てます。

また、洋上から巡る日本遺産「候補地域」特別クルーズとして、東京湾フェリーの臨時運行を実施し、東京湾臨海の房州石建造物や鋸山と麓の町

並みを洋上から見学するツアーを実施し、9月10日、11日の約1時間半のツアーでは、2日共、400人以上の方が参加しました。

10月2日には、第2海堡や羽田空港滑走路沖方面のツアーを実施し、船内では、鋸山の歴史や房州石などの説明を行います。

また、参加者に対しアンケート調査を実施し、ニーズ把握やリピーター増加に向け検証を行います。

鋸山シンポジウム開催事業は、鋸山の歴史的・文化的価値について、研究者を招き講演を行うとともに、地域の事業者などをパネラーとしてパネルディスカッションを行い、地域全体で活性化を図る環境づくりに取り組みます。

域内小中学校での普及啓発活動は、「鋸山の教室」を開催し、房州石が使用されている建造物の解説、日本寺の歴史や石仏の解説を行い、郷土学習を通じて地域に誇りを持てるよう、取り組みます。

鋸山の高付加価値検証事業は、事業化促進を図るための付加価値実証実験を行うもので、AR(拡張現実)を活用した案内板の設置や、キャッシュレス決済の試験的導入を行い、効果を検証します。

このように多くの事業を円滑に実施するためには、私ども協議会事務局だけではできませんので、鋸南町や受託事業者、関係者、地域の方々と連携を図りながら取り組んでまいります。

説明は以上です。

事務局
(平野部長)

ありがとうございました。

最後に、公民館・市民会館の個別施設計画の策定に向けた検討について、事務局から説明をお願いします。

公民館長

はい。

公民館・市民会館の個別施設計画の進捗状況について説明いたします。

各種事務・工事スケジュールの作成については5月から8月にかけて毎月教育部内で協議の実施をいたしました。協議は公民館長と各施設の係長・宮崎主幹とで行い、計画期間を令和4年度から令和14年度までの10年間とし、公民館市民会館の整備計画のスケジュールについて協議いたし

ました。スケジュール（案）については9月9日に市長説明を実施しております。

次に、公民館改修計画策定業務委託についての検討は、各種事務・工事スケジュールの作成と同時進行で、公民館・市民会館の改修時における計画策定業務委託を実施するにあたっての協議を行い、同じく市長説明を9月9日に実施しております。

また、活用可能な補助金の調査について、新規に各館を建築するにあたって、補助金の活用ができるかの調査を国の機関に確認しましたが、現時点では補助金の対象にはならないとの回答でありました。

中央公民館及び市民会館の借地に係る地権者交渉との連絡調整については、中央公民館の敷地内には国有地（赤道）があり、今後測量を行い、国からの払い下げを行う業務や市民会館用地は民地である為地権者との協議が必要とされます。これらについては今後進めてまいります。

中央公民館敷地の文化財調査は、中央公民館に隣接する弁天山古墳の周溝を含め、文化財の調査（試掘）を行う必要性がありますので、これらの協議を生涯学習課の文化係と行いました。

協議の結果、建物が弁天山の周溝にかかる場合は調査が必要で、旧小久保藩（旧教育委員会の跡地）であれば問題ないのですが、これらは建築場所が決まり次第、再度協議を行ってまいります。

施設環境整備としましては、中央公民館の多目的室と富津公民館の娯楽室に今年度個別エアコンを設置いたしました。市民会館には6月補正によるコロナ交付金を活用しまして、納品次第、第2会議室・音楽室・研修室へと順次設置いたします。

空調設備改修工事に関しては、中央公民館・市民会館の本体の空調機に付随する修繕を行います。中央公民館では空調用ボイラー軟水器オーバーホール修繕、市民会館では吸収式冷温水発生機改修工事を行ってまいります。

その他に、6月補正によるコロナ交付金により4館に空気清浄機エアードック10台を購入しましたので、納品次第、利用頻度の高い部屋への設置を行ってまいります。

おなじく6月補正によるコロナ交付金によるもので、設置型の授乳室を各館へと設置いたしました。

<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>富津公民館ブラインド交換修繕は、こちらも6月補正によるコロナ交付金を活用し富津公民館の各部屋のブラインドの交換を行ってまいります。</p> <p>富津公民館非常用照明 LED 交換修繕については、富津公民館の各部屋の非常用照明を LED に交換してまいります、設計中で出来次第入札を行い実施いたします。</p> <p>公民館・市民会館からの説明は以上となります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、各課の説明が終わりましたので、質疑及び意見交換をさせていただきます。</p> <p>委員の皆様、どの事業でも結構でございます。</p> <p>意見等ございますでしょうか。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>生涯学習課の鋸山日本遺産の候補地域活用推進協議会事業について、洋上から巡る日本遺産候補地域・鋸山クルーズについて、9月11日に行われ、参加者が400名ぐらいだったということなんですけども、10月2日に予定されているクルーズの予約状況と、最近までこの事業、ルールのことなど知らなかったんですけども、市民や他の地域の人にどんな方法で周知したのでしょうか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>お答えいたします。</p> <p>10月2日の予約状況につきましては東京湾フェリーがホームページ上で予約を受け付けておりますが、定員に達しましたので締め切りという状況です。</p> <p>周知に関しては、市のホームページ、SNS等を活用した中で、いくつかの媒体を持って周知をしているところでございます。</p> <p>また、地元の方に来ていただきたいというところと、首都圏の方に来ていただきたい両方の側面がございますので、特に首都圏の方につきましては、東京湾フェリーのホームページや広報媒体を持って周知をしてしてい</p>

	<p>ただいてるという状況でございます。</p> <p>以上です。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>クルーズの定員は500人でしたでしょうか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>そうです。関係者も多少乗りますので500人の少し手前、400数十人で止めていると東京湾フェリーから聞いておりますが、定員には達しているという状況です。</p>
<p>坂部委員</p>	<p>青堀小学校改築の件なんですけど、よろしいですか。</p> <p>今回、学校建築の専門的立場から千葉大の柳澤教授にアドバイザーとして助言いただくということで、委嘱されたことは本当にありがたく、また、校舎がどうなっていくのか、今からも楽しみでなりません。</p> <p>そんな中、私からもこういった校舎作りがいいなという思いがありますので、お話をさせていただきます。</p> <p>9月初めに新聞の記事を見たのですが、山武市にある松尾小学校が新校舎、木の温もりということで、この2学期からスタートされたということで記事に出ていました。それには、県産ブランドである山武杉を壁や床にふんだんに使用されていると書かれておりました。</p> <p>今皆さんが住んでいる住宅は、木造住宅がほとんどだと思うんですけど、実際、柱とか梁は見えずに、壁や天井はクロスで、床がフローリングだったりすると思うのですが、青堀小の校舎にも、全教室だと大変な費用が掛かるのかその辺わかりませんが、どこか特別教室などに木をベースにした場所があったらという思いがございます。</p> <p>富津市には山武杉があるかというのと、その辺はわかりませんが、実際に山林が生い茂っている場所は富津市にも多いので。コロナ禍になってからウッドショックといって、材木等が倍以上に高騰したと聞いておりますが、皆さんは普段の生活の中では壁はクロスなどが多くて、やっぱり子供たちだけには木と組み合わせた壁や床、天井などで学校生活を送れたらいい</p>

	<p>いのかなという思いがあります。</p> <p>今から建て直して、校舎もまた同じ場所に建てる予定でいると思うんですけど、学校敷地内にどうしても邪魔になるような木があったら、それを利用して校舎の中に取り入れたりするのもいいのかなって思っております。今後検討していただけたらありがたいです。</p> <p>以上です。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>他にございませんか。</p>
<p>藤平委員</p>	<p>青堀小学校についてですが、資料の4番、先進事例の視察ということで、既に2校の視察を終えられ、そして今度2校、みどりが丘小学校と中郷小学校ということで伺っておりますけれども、選定の根拠があったら教えていただきたいと思います。</p> <p>中郷小学校は、坂部委員のご意見にもあったように、木をふんだんに使った木造平屋の校舎ですけれども、小規模特認校ということで、児童数が大変少なく、将来を見越して公共施設、公民館等に活用できるような間取りになっています。そうすると、木をふんだんに使っているということでは参考になるかと思ったのですが、なぜ小規模特認校に視察に行かれるのかと疑問に思った点がございまして、質問させていただきました。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>お答えいたします。</p> <p>2校につきましては、両委員からお話あったように、木造ですとか、木質を多く施設の中に使っていて、学習教室のあり方も、今までの区切られたスペースだけではない作り方をしている学校でありまして、特にみどりが丘小学校については、そういった教室のあり方等を参考にするため、選定いたしました。中郷小学校につきましては、確かに規模は青堀小学校とも大変違うというところは認識しておりますが、検討委員会の委員から木</p>

<p>藤平委員</p>	<p>造の校舎を見てみたいというご希望があった中で、選定いたしました。</p> <p>意見としてですが、他にも大きい学校で、木造や木をふんだんに使った学校は近くにはないのででしょうか。以前は外箕輪小学校が木をたくさん使った校舎、今は児童数が少なく統合のお話も出ておりますけれども、そういう間取りが参考になるようなところも併せて視察に行けるといいかなという意見です。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>他にございませんか。</p>
<p>池田委員</p>	<p>図書館関係事業につきまして、教育センターの読書活動の推進と関連付けて意見を申し述べさせていただきたいと思います。</p> <p>岡根教育長がご就任以来、読書教育に非常に力を入れておられました。点検評価を見ても子供たちの読書に対する興味は着実に向上してきていて、あとは読書の興味を実際の読書時間の増加にどう繋ぐかということが課題であろうかと思います。そのためには、学校や家庭での読書教育はもちろん重要ですが、私は今度開館する市立図書館が子供たちの読者の興味を高め、本に触れる機会を多く作る、そういった学習推進の大きな中心的役割を担っていただきたいなと期待をしています。そのためには学校と図書館の連携がすごく重要になってくると思います。場合によっては図書館から学校に積極的に出向くことも必要かもしれませんし、読書支援員、あるいは読み聞かせボランティアの皆さんの育成支援を図書館が中心的な役割機能を持ってまとめていくということも考えてもいいかもしれません。また、学校もできれば事業活動の一環として、図書館見学会のようなものをしていただけないかなと、特に低学年がいいでしょうか、2年生3年生あたりで、実際に図書館に行って、そのときにテーマを与えて図書館で調べるなどすれば、図書館への親近感が出てくるかもしれません。是非そういった読書教育を図書館が担うということ、今 ICT 教育が進めら</p>

れていますので、端末での情報収集は非常に大事なんですけども、やっぱり子供たちがテーマに沿って図書を選んで自分の指でページをめくって課題を解決するというようなことによって知識の深さや、あるいは感受性であるとか、ICT 端末とは違ったものが必ずあるはずですので、ぜひ市立図書館は子どもたちの読書教育の大きな役割を担っていただきたいということに期待を申し上げたいと思います。以上です。

事務局
(平野部長)

ありがとうございます。

その他何か皆様方からご意見等ございますでしょうか。

嶋野委員

学校給食管理運営のこととはちょっと違うんですけども、市長さんもうらっしゃいますので、学校給食の無償化への要望に関して、意見が少しあるのですがよろしいでしょうか。

富津市では、物価高の影響で負担が増している子育て世帯を支援するため、2学期の給食は無償化にしておりますけども、私の周りの児童生徒の保護者からは、当たり前のことですけども、給食費はずっと無料だったらいいのにとか、子育て世帯が大変なんだから、子育てしやすい富津市を目指していくんなら、なんとか給食費を公費で賄ってもらえないかという声を多く耳にします。

しかし、完全無償化は県や国からの補助がなければ、非常にアバウトな話なんですけども、単純に年間1人5万5,000円としても、例えば2,300人分で年間約1億3,000万の負担となる計算になります。今の富津市の財政事情を考えますと、なかなか厳しいのかなと察しますが、一方で市川市では、中学校は1月から、小学校は来年4月から給食費の全額を市で負担するという新聞記事を見たことがあります。同じようにするのは無理にしても、せめて児童生徒が3人以上いる家庭の支援をしていただければと思います。

千葉県では1月から3月まで、第3子以降の給食費を完全無償化すると

市長	<p>という報道がありましたけども、来年度以降については来年度当初予算で他の子育て支援や、県の財政事情などを踏まえて検討するとなっていると認識しております。</p> <p>現在、来年以降第3子以降の無償化を確定すれば、市の負担は軽減されると思いますが、確定されない場合は、これもアバウトな数字ですけども、第3子以降の児童生徒が例えば市内180人だとして、年間約1,000万円程度の負担になるかと思いますが。その負担が大きいのか小さいのか、それは人それぞれの判断でしょうが、何とか予算を確保して県からの補助金を受けられない状況でも、富津市では来年度以降児童生徒の3人以上いる家庭には第3子以降の給食費完全無償化を実現していただければと強く願っています。</p> <p>そこで、富津市の学校給食無償化について、実現に向けてといたしますか、何か動きがあるのかといった現状と、どのような考えを持っているかお伺いできればと思います。</p> <p>給食費の無償化、市川市の話も、各自治体や首長にとっては良い意味でも悪い意味でもすごくショッキングだったと思います。</p> <p>今までは子供の数の少ない自治体しかできない事業であるということをして全ての自治体が言い続けてきたんだと思いますし、それは決して、言い過ぎではないと思っています。</p> <p>先ほどの1億3,000万という金額はまさにその通りですけども、単年度にこれを出すことに関しては、歯を食いしばっているような事業を調整をして、できないことはないと思いますけども、後年に渡って毎年出ていくお金ですので、これをやるにあたっては、今まで私も市長になって6年間、子育て政策、教育現場の環境整備というのを私なりに努力してきたつもりでいますけども、もう一つステップを踏んでいかなければ、なかなか難しい課題だと思っています。それは何かと言われると、やはり決められたお金の中でこれだけの金額を使うわけですから、何らかの事業をやめるとい</p>
----	--

うような判断を求められてくるんだろうなと思っています。

そして、これはおそらく全額自主財源でやるわけですので、様々な事業を考えたときに、本当に大きな金額だと思います。

しかしながら、市川市のような自治体が出てくるとなると、やはり今、子どもの数が減っている人口減少の中で、避けて通れない課題であります。子育て世帯の皆さんが少しは良くなったねというような満足度を高めるという意味では、避けて通れない部分があるかもしれないと思っています。それがもしかしたら第3子以降ということなのかもしれませんが、私自身は市長なってすぐに保育料の無償化を第3子以降のお子さんを対象にということで進めてきましたけれども、様々な経験をする中で、もしかしたら、等しくどこかの学年を対象にするという考えもありなのではないかと、この給食費の無償化については、個人的には今の段階で考えています。

しかし、来年度すぐに現状の市の財政状況で取り組めるかどうかわかりませんが、真剣に医療費と共々考えなければいけないタイミングだろうなと思っています。

県の施策というのは、県がやってるという話にはなるわけですが、実は皆さんご存知の通り、2分の1は市の負担を求められています。それに関して私どもは、喜んで2分の1を負担して、富津市も第3子以降の1月からの給食の無償化に関しては協力をしていきたいし、来年度以降、引き続きあるようであれば、もちろんそれに関しても、一緒に頑張りたいなと思っています。

給食費は大変重要な、自治体に課せられた課題だと思っていますので、繰り返しになりますけれども、多子世帯という捉え方か、それともある学年をやることによって、等しく富津市で子育てをしている家庭が恩恵を受けられるといった判断をするのか、その辺は、まずやれるかどうかというところを踏まえた中で検討していく課題であると思っています。以上です。

鳴野委員

ある学年で実施するというのは良い案だと思います。

<p>市長</p>	<p>ある学年というのは、既に浦安市が小学6年生と中学3年生を対象として、今年から初めています。</p> <p>その学年の保護者の方たちが、財政的な負担が多い学年だという判断だと思いますし、私もその考えは非常に同感します。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>他に何か皆様方から何かございますか。</p>
<p>池田委員</p>	<p>鋸山日本遺産の候補地活用推進協議会事業について意見を述べさせていただきます。</p> <p>日本遺産の認定というのは、商業主義的な発想をちょっと切り離して考えなければいけないかもしれませんが、鋸山の歴史文化的な価値を高め観光資源として磨きをかけて有料部の研鑽、観光客に来ていただくというのは非常に有益な手段であろうと思います。大切なのは、めでたく日本遺産に認定された場合、その後の活動の継続性や広がりではないかと思えます。もちろん外国のお客さんがわかりやすい案内板を作ったり、登山道や駐車場整備などのハード面のことも非常に大事なんですけど、やはり私は来ていただく際のおもてなしの心と、地域全体でそれが醸し出されるような雰囲気作りがすごく大事であると思いますので、幸い金谷の場合は、有名な観光地として、南房総を代表する観光施設もありますし、おもてなしをする環境というのはもともとある地域なのかもしれませんが、そこに根ざして住んでいる方も含めて、町全体がおもてなしの心を持てるような環境というのが必要だろうと思いますし、そのためには推進協議会の方達を中心として、活動の広がりを、金谷、保田だけではなく、周辺地域も含めて、傍観者ではなく、当事者としての活動の広がりがこれから必要になってくると思えます。</p> <p>話が飛躍して恐縮ですが、この日本遺産認定に向けた活動というのが、</p>

市長	<p>富津の子供たちが富津に愛着と誇りを持つための、一つのきっかけになればいいなというふうに私は思います。</p> <p>生活の利便性よりも豊かな自然や文化遺産といった、文明よりも文化の良さを感じてくれるような、感受性、感性を磨く教育は読書もその一つだと思うのですが、とても必要なのかなというふうに思います。</p> <p>感覚的なことで大変恐縮ですが、天羽地区の子供たちは鋸山の石の歴史をある程度知ってるかもしれないですが、内裏塚古墳や富津岬、佐貫城址のことは知らないかもしれないですし、その逆もあり得ると思うんです。</p> <p>第1、第2海堡の基礎に鋸山の石が使われていることも知らないかもしれないです。ですから、この鋸山の日本遺産の認定に向けた活動を通じて、富津の子供たちが富津市全域の文化遺産、富津の素晴らしさっていうものに気づくきっかけになるような活動の繋がりができれば非常に良いのではないかなと思いますので、その点しっかりと、子供たちが富津について学ぶ機会をさらに作れたらいいのかなと思います。</p> <p>池田委員のお話の通りで、私もこの日本遺産を目指す取組みの言い出しっぺの1人でありまして、そのきっかけというのはやはり地域の誇りと愛着を市民の皆さんに感じてもらうのに、大変大きなシンボルとなり得るのではないかということを感じていましたので、この機会にぜひチャレンジしたいということで日本遺産の登録に向けて努力をしているところです。</p> <p>例えば、山梨静岡の富士山であったり、石川県の兼六園であったりとか、日本人がみんな知ってるような地域の人たちはそれを誇りに感じてるわけですが、富津、私は金谷の人間ですけど、金谷の人間でさえそこまでの誇りや愛着があったのかというと、そうではないと思っていますので、それをもう1段ステップを上には上げるには、地域に限らず、全国の評価が鋸山に対して、多くの評価を得られているんだという実感が、誇りと愛着を持つにはすごく後押しになるんじゃないかなと感じていますのでチャレ</p>
----	---

ンジしていますし、これがぜひ達成できたらいいなと思っています。

そして、学校の統合も進んでおり、これまで金谷、天神山の子だけが、房州石の勉強をしたのかもしれませんが、今はやはりそういったくくりではなくて、子どもたちに富津全域の良さを知ってもらうことが、今後のこの地域に住み続けようという愛着に繋がっていくんじゃないかなと私自身は考えています。

選ばれるまちのお話をしましたけども、この地域に選んで住んでるっていうのを次の世代の子供たちに感じてもらうために、ぜひこれをその一助にできるように進められたらと思っています。

そして、日本遺産に関しては、ご意見の通り遺産としての評価だけではなくて、その要素の中には、日本遺産の認定後にも、観光客であるとか、そういう人の流れを増やすような取組みも求められているものもありますが、これに関しては、もしかしたら他の地域よりも現状でもかなり頑張っている地域なんじゃないかなと思っています。

そして、あとはおもてなしですが、やはり金谷は富津の中でも比較的DNAという大げさかもしれませんが、外の人が昔からいろいろ歩いている地域なので、強く持っている部分ですから、それをより一層、今回の日本遺産登録がなされればもっと強い気持ちを持っていただけるように、そしてボランティアや、子供たちへの教育をこれから進めていきますので、そういう中で多くの皆さんが賛同していただけるといいなと考えています

生涯学習課長

今市長が言っていたように地域全体でおもてなしを高めていくというところで、協議会でもできることをやっていかなければいけないと思っておりますし、子どもたちが地域に誇りを持つということを教育長も理念として持っているところです。

昨年度、シンボルマークを決めるために小・中学生に投票してもらったのも、我々が自分たちで決めたというような子どもの誇り・愛着に繋がると思いますし、また、鋸山の教室は、基本的に全小学校の5年生を中心に、

富津市と鋸南町の学校に出向いて、鋸山の歴史、また、石切が実際にどこで使われてるかなど具体的に説明して、身近に感じてもらうことが誇りや愛着が根付いていく活動の一つだと思っております。

また、併せて先ほど図書館のお話もいただいたところですが、現在は図書館がありませんので、商業施設の中に設置することで、図書館に行くというハードルも少し下がるんじゃないかなと、また、年代に合わせた図書コーナーを設けたり、先ほどお話もいただいたように古墳のまちでもありますし、鋸山以外にも、古墳や海堡などの歴史、資料をそろえたり、郷土資料を展示したりと、色々な側面を持って進めていければと考えております。

池田委員

ありがとうございました。

教育長

よろしいですか。

富津に愛着、誇りをという話についてですが、富津市はすごくポテンシャルのある市だと思います。工業地帯もあるし、古墳もあるし鋸山もあるし、漁業、農業もある。そういう点では、子どもたちに本当にそういった富津の良さ、そういうものがあるんだねということを肌で感じてもらう仕組みがどうしても必要だなと、やってみて本当にそう思いますね。

各学校は地元のことについては、ある程度学んでいます。

佐貫の子は佐貫のことを勉強しようとするんだけど、他にもこういう場所がいっぱいあるんだということは、さっきの見学も含めて、出来ているのかというと、弱いなという実感です。

鋸山の出前講座などをまず起爆剤にしながら、そこで小学生の見学会など、富津市全体に対して愛着を持てるような教育は必要だと感じました。

おもてなしは、市のキャッチフレーズで「あったかふつつ」という言葉があるので、人が温かいですよここの地区はと、市や県としてもやっていく必要があるということで、親切だとか、ボランティアとか、そういう社会に関わっている人と関わっていく力をどう育てるかをお願いしながら、

全体のこととしてできたら、いい町が作られると感じます。また知恵があったら教えていただきたいと思います。

鋸山も方も、地域の人たちが何回も行って、良いところだと感じるような仕組み作りもあるのかなと思います。歩け歩けをなども含めて、そういうところのハイキングなども企画してもらったりすると市民みんなが誇りを持てるようなことに繋がるのかなと、今お話を聞いていて思いましたので、働きかけていきたいです。

事務局

(平野部長)

その他に何か皆様方から何かございますでしょうか？

市長

貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。

その中で、青堀小学校の改築等の様々なお話をいただいて、木を使うということに関しては、私もやはり様々な観点から可能な範囲で考えるというのは、決して悪いことではないと思っていますし、検討委員会の皆さんが視察等も含め、色々と意見をいただいた中で教育委員会の方で形を作っていたらいいかなと思います。どうしても施設全般の話にはなってしまうのですが、改めて皆さんにご認識いただきたいこととして、実は今日皆さんと議論した中の青堀小学校の給食、調理場のことを言わせてもらえると、この費用だけで建設費、建物の改善等全てを考えると、富津市の一般会計の3分の1ぐらいの金額になるだろうというようなビッグプロジェクトだというふうに私は思っています。

何を言いたいかということ、そういうような大変な金額を使うものでありますけども、やっぱり安全と安心、そして対象が子どもたちがメインであるということなんで、しっかりと使うべきところは使わせていただいて、そして工夫し、抑えられる部分は申し訳ないけども抑えるということも頭の隅に入れながら、担当の方ですね、しっかりといい形を作っていくてもらいたいというふうに思ってますし、私も市長として関わってる間は、それに関して積極的に話をしていきたいなと思っています。

先ほどの様々な観点から、さっき言ったように1億というお金がどうし

ても、200億のうちの1億ですと、そのぐらいついていうふうに思われる方が正直なところ少なくないと思いますけども、やはりいろいろなことを考えて、必要なもの、必要の無いもの、これは学校の先生方にも申し上げることがあるんですけども、格好をつけた言い方をいつもしますというのですが、私は必要な1億は予算をつけたいと、その代わり必要のない10万円の予算をつけませんという話をいつもさせていただいています。そして、その1億円が必要だと思えば、他の分野よりも頑張って予算をつけたいのが教育子育ての分野だと市長として考えているところです。

ぜひ皆さんがそういう意味ではいろいろと今まで以上に、協議を重ね、様々な方の意見を聞いて、それで拾い上げられない意見に関しては説明が求められる時代だと思っていますので、私どもだけではなかなか力が及ばないときには、教育委員さんの力もお借りして、前に進んでいきたいなと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局

(平野部長)

ありがとうございました。それでは皆様方よろしいでしょうか。

それでは本日の議題は終了いたしましたので、これをもちまして令和4年度第1回総合教育会議を終了いたします。

本日頂戴したご意見、ご提案につきましては、事務局といたしまして今後十分留意し、対処してまいりたいと思います。

本日はありがとうございました。

